

◎ 国語部門

1 行事及び内容

(1)研究委員会

①第1回研究委員会：6月7日（月）

- ・事業計画
- ・文集「あまくさ」第55集の編集方針と募集要項の検討
- ・研究発表会の検討

②第2回研究委員会：8月23日（月）

- ・研究発表会の開催要項
- ・学習構想案の検討

③第3回研究委員会：11月22日（月）

- ・研究発表会の流れの確認及び役割分担

④第1回文集「あまくさ」編集委員会：12月26日（木）

- ・編集までの日程と審査基準の確認および審査
 - ・入賞者名簿作成
- ※学校図書館教育部門と合同

⑤第2回文集「あまくさ」編集委員会：1月6日（木）

- ・審査反省および入賞者名簿の作成

⑥第3回文集「あまくさ」編集委員会：1月25日（火）

- ・第55集の校正と編集の反省
- ・国語部門年間反省
- ・次年度へ向けて

⑦第4回研究委員会：1月31日（月）

- ・第55集の最終点検、編集の反省

～その他の活動～

※小学校県文集「ゆめ」天草郡市審査会：10月28日（木）

小学校県文集「ゆめ」県審査（矢住美亜 教諭）：11月13日（土）

(2)本年度の研究発表会について

研究テーマ「生きて働く言葉の担い手が育つ国語科授業の創造」のもと、11月29日（月）に天草教育会館において、以下の内容で研究発表会を実施した。

○実践発表（授業VTR）及び授業研究会

単元名「作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう「やまなし」（小学6年）

授業者：栖本小 小川 将吾 教諭

○指導助言及び講話 講師：佐賀大学教育学部 達富洋二 教授

※参加者：小学校25名、中学校17名

2 成果と課題

本年度の研究発表会の公開授業は、新型コロナウイルス感染対策のため、授業を事前に録画し公開した。発表会では、動画を編集し単元の流れが分かるプレゼン資料をもとに実践発表をしていただいた。初めての方法であったが、参加者には単元全体の流れや本時にいたるまでの手立て等も伝わったと思う。達富洋二教授からは、「主体的な学び」「自律的な学び」を実現するための指導方法を中心とした指導助言をしていただき、参加者からのアンケートは、高評価であった。

文集「あまくさ」第55集は、学校図書館部門の先生方との合同審査を経て今年度も無事発行することができた。審査に協力していただいた先生方に感謝したい。各校の作文指導に活用していただければ幸いである。